

WG 活動経過報告書の構成案2（2022年1月14日改訂）

- 放射線の基礎知識を持ち、放射線防護を専門としないかた向けに
- 現在の知見の整理は最小限にとどめ、今後の論点と課題に焦点を絞りたい
- 1項目あたり、2～3ページ程度か（場合によっては多くなってもOK）

1. WG のスコープと活動方針

- 1-1 WG 設立趣旨、体制及び活動方針 飯本
- 1-2 WG における当面の検討課題 古渡

2. エックス線事故等の概要と可能性

- 2-1 国内外の放射線事故に関する公開情報 山口・五十嵐
- 2-2 大学等における放射線トラブルの事例 高橋・榎本・飯本
- 2-3 エックス線被ばく事故（日本製鉄2021年5月）の概要 山口・辻本

3. エックス線装置とそれらによる被ばくの特徴

- 3-1 非破壊検査関係 小田
- 3-2 大学・研究機関等 榎本・飯本
- 3-3 学校教育現場 秋吉

4. 安全文化に関する検討

- 4-1 エックス線被ばく事故の再発防止の観点からの検討 小嶋
- 4-2 エックス線作業主任者養成の観点からの課題 福士
- 4-3 「職場の安全サイト」労働安全取組 中村
- 4-4 ウラン加工工場(JCO)臨界事故の教訓 笠井

5. 今後の検討課題

- 5-1 エックス線発生装置の規制 橋本
- 5-2 放射線の管理 川島
- 5-3 エックス線被ばくに関する線量評価 阪間・古渡
- 5-4 エックス線被ばくに関する放射線影響 浜田

6. まとめ 古渡・飯本